苫小牧市立沼ノ端小学校　学校便り「沼小だより」　　Ｎｏ．５　　令和８年９月３０日

沼小だより

https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/numanohata-es/

学 校 教 育 目 標

進んでよく考える子ども　　健康で明るい子ども
力を合わせてやりぬく子ども

AI とともに学ぶ、これからの子どもたち

朝夕の風に秋の気配が感じられるようになり、季節が駆け足で進んでいくように感じます。夏休みを終えて１か月、子どもたちは学習や行事など、一つ一つの活動に元気に取り組んでいます。

さて、現在、学校教育の基本的な方向を示す「学習指導要領」の改訂に向けた検討が進められています。学習指導要領は、これからの社会を生きる子どもたちに、どのような力を育てていくのかを示すものです。社会の変化を踏まえ、情報活用能力の育成や ICT を活用した学び、子ども一人一人に応じた学びなどについて、今後さらに充実が図られることが考えられます。

こうした変化と深く関わっているのが、「生成 AI」です。文章を作ったり質問に答えたり、すでに私たちの生活や仕事の中でなくてはならないものになりつつあります。実際に学校現場でも、先生方が AI を活用して調査物をまとめたり、掲示物を作成したりすることで働き方改革に繋がっています。

先日、理科の授業で「影のでき方を調べるためには、どんな実験をしたらいいでしょう」と子ども達に聞くと、「生成 AI に聞く」と答えました。子ども達の中にも、分からないことや困ったことがあるときには AI に聞くということが浸透しているようです。AI は、すぐに最適な答えを教えてくれますが、分からない問題に対し、すぐに答えを聞いてしまうと、「なぜそうなるのか」を自分で考えたり、試行錯誤したりする機会が失われます。また、AI が作った文章や考えをそのまま使うことで、自分の言葉で表現する力や、自分の考えを深める力が育ちにくくなることも考えられます。



だからこそ、これからの学校教育では、単に「AI を使える子ども」を育てるのではなく、**AIを適切に活用しながら、自分で考え、確かめ、判断し、自分の言葉で表現できる子ども**を育成していくことが大切です。そして、AI が身近になる時代だからこそ、人と人との対話や、自分の頭で考えることの価値は、これまで以上に大きくなってくるはずです。

本校でも、新しい技術を「便利だから使う」のではなく、「学びをより豊かにするために、どのように使うか」という視点を大切にし、指導していきます。子どもたちが AI に何でも頼るのではなく、その良さと危険性を理解し、未来を自分の力で切り拓いていけるよう、学校と家庭がともに考えながら取り組んでいきたいと思っています。

※現在、苫小牧市では、AI に年齢制限や保護者の同意が必要なこと、個人情報の流出や著作権侵害などのリスクの懸念から、小中学生の授業での生成 AI の利用は禁じられています。

令和8年9月 沼ノ端小学校主幹教諭　樽石　貴久

夏休み校内作品展

長い夏休みを生かし、力作が揃いました。多くの保護者の方にも参観いただきました。今年の校長賞・教頭賞は以下のとおりです。

校長賞	１　年	○○	○○	「みちのえき」
	２　年	○○	○○	「ソフトクリームけんきゅう」
	３　年	○○	○○	「もち屋さん」
	４　年	○○	○○	「家にあるものを入れてみたら」
	５　年	○○	○○	「つまようじアート」
	６　年	○○	○○	「リアルなコンビニ」
	さくら３年	○○	○○	「ブルーハワイとかいがらコップ」
教頭賞	１　年	○○	○○	「どうぶつえん」
	２　年	○○	○○	「シーシェルブーケ」
	２　年	○○	○○	「木ばこ」
	３　年	○○	○○	「やさいのかわなどで紙を作ってみました」
	４　年	○○	○○	「アリスじっけん」
	５　年	○○	○○	「ダイラタンシーはどう変わる？」
	６　年	○○	○○	「ウォーリーストーン」
	さくら５年	○○	○○	「わりばしぶね」





市内の各種コンクールに入賞しました！

○苫小牧市小中学生理科展

・奨励賞	２年	○○	○○	「花の水のすい方って？」
	２年	○○	○○	「これ、なんのずかん？なんのよう虫？」
・入選	４年	○○	○○	「りんごの色はどのように変わるのだろうか」

○苫小牧市小中学生発明工夫展（アイデア工作展）

・苫小牧市科学センター館長賞	２年	○○	○○	「夏休みにのった気きゅう」
・入選	２年	○○	○○	「シーシェルブーケ」
	６年	○○	○○	「ヘロンの噴水」

○市民文化祭俳句大会

・図書館長賞　３年　○○　○○

学校花壇コンクール「優秀賞」

本校玄関前の円形花壇が、市の学校花壇コンクールで最優秀賞に次ぐ「優秀賞」を受賞しました。

今年度は、環境ボランティア委員会の児童が花壇のデザインを考え、水やりや手入れをしてきました。また、夏休みにはPTA「花壇ボランティアサポーター」の活動として、多くの親子が集まり、手入れをしていただきました。ありがとうございました。

ご来校の際は、ぜひご覧になってください。



１０月１１日は開校記念日

本校は、明治36年に「沼ノ端教育所」として開設された、苫小牧で4番目に歴史のある学校です。以来、「沼ノ端尋常小学校」、「沼ノ端国民学校」、「苫小牧市立沼ノ端小学校」と名称が変わりながら、開校123年目を迎えました。

今年の開校記念日は3連休の中日となる日曜日です（振替休日はありません）。事故や体調管理に気を付け、楽しい休みをお過ごしください。

９月の沼小っ子たち

芸術鑑賞（９/１）

劇団影法師の方々が来校し、影絵の劇等を見せてくれました。子ども達は、教科書に載っている「スイミー」や「モチモチの木」の美しい影絵に感動したり驚いたりしながら楽しい時間を過ごしました。手でできる影絵も教えてもらい、大満足でした。



放課後子ども教室(9/２･８)

２日に陸上、８日には野球の教室がPTA主催で行われました。どちらも10名以上が参加し、専門的なアドバイスをもらいながら楽しく体を動かしました。子ども達も、正しい走り方や投げ方を教わり、できるようになったことを実感した様子でした。



５年むし歯予防教室（9/１６）

歯科医の先生方に来校いただき、むし歯予防教室を開きました。赤く染めた歯を実際にブラッシングして、自分の歯磨きがきちんとできているかを確認しました。むし歯の原因や歯磨きの大切さについて改めて知ることができました。



４年美術博物館学習(9/２５)

４年生が苫小牧市美術博物館に行き、昔の人々の暮らしについて学習してきました。見学した後、石うすで米を粉にする体験活動を行いました。昔の人の食事の様子を体験することができました。



１年食の指導(9/28)

栄養教諭の先生が来校し、各学年で指導を行っています。この日は1年生を対象に、給食センターのはたらきを学習しました。子供たちは実際の調理器具を見たり触れたりして、その大きさにとても驚いていました。



紙コップアート

「JFEカエルみらい館」(旧リサイクルプラザ)のリニューアルオープン記念として、全校児童が紙コップに苫小牧の自然を描きました。作品は、10月3日(土)のオープン時からオブジェとして飾られます。(令和10年3月末まで)ぜひご覧ください。



１０月の行事予定

10月の帰宅時刻は、午後4時30分まで。

※予定していた行事が延期、中止となる場合があります。

1日	木	3年校外学習(消防署沼ノ端出張所) 4年見学学習(ウポポイ・高丘浄水場) スクールカウンセラー来校(午後)	17日	土	
2日	金	全校4時間授業(特別日課)給食あり 就学時検診(午後)	18日	日	
3日	土		19日	月	スクールカウンセラー来校(午後)
4日	日		20日	火	
5日	月	後期時間割開始 3年校外学習(キッコーマン・三星)	21日	水	2年生活科校外学習(お店見学)
6日	火	6年修学旅行①(函館) 3年5時間授業(5日と振替)	22日	木	児童会⑥(後期開始)
7日	水	6年修学旅行②(函館) 沼ノ端中学校体験学習受け入れ	23日	金	
8日	木	6年回復休業	24日	土	
9日	金		25日	日	
10日	土		26日	月	4年アイヌ文化学習
11日	日	開校記念日	27日	火	PTA 朝の読み聞かせ(1, 3組) スケート学習(2, 3, 6年) 6年英検 ESG
12日	月	スポーツの日	28日	水	
13日	火	スケート学習(1, 4, 5年)	29日	木	PTA 朝の読み聞かせ(2組)
14日	水	「みらいの教員養成プログラム」(登別明日5回生)受け入れ(16 日まで)	30日	金	
15日	木	PTAお手玉の会(2年) クラブ⑤	31日	土	
16日	金	4 年科学センター学習			